



# ITOGUMI SDGs REPORT 2023

伊藤組土建株式会社

## Top Message



代表取締役社長 大谷 正則

人・まち・環境が調和した未来が、私たちの願い。

世界はいま、気候変動や資源・エネルギー問題、健康や経済への不安など、さまざまな社会問題に直面しています。世界の国と地域が持続可能な社会を目指してアクションを起こすなか、私たち伊藤組土建も未来を見据え、明確なビジョンを持って取り組みを進めています。

太陽光や水素、下水熱等を活用した環境技術開発に、植樹をはじめとする環境保全活動、職場環境改善などの健康経営の取り組みのほか、北海道の発展とともに歩んできた企業として地域のまちづくりや防災、文化芸術活動への支援にも取り組んできました。

また私たちは、人材の育成を重視し、働くことへの意欲を持てる職場環境づくりや多様な人材の活用を推進している企業でもあります。企業として多様な個性に対応するさまざまな仕組みを用意することで、一人ひとりが企業人として成長しながら、自らの成長ややりがいを育むことのできる体制を構築しています。建設業界の未来のため、学生や幼児・児童向けの企画も積極的に開催し、大切な将来の担い手の育成にも努めています。

伊藤組土建が願うのは、人・まち・環境が調和し、豊かに発展していく未来です。私たちは創業以来受け継がれる「責任観念」「誠心誠意」の精神のもと、50年後、100年後にも社会に貢献できる企業として存在し続けられるよう、新たな価値創造にチャレンジしてまいります。

# SDGsの取り組みと成果目標 報告対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日

視点	重要課題 (マテリアリティ)	個別課題	主要活動	KPI主要活動目標【中期2030】	SDGs	
環境 (Environment)	環境を守り、育む	廃棄物の低減とリサイクル	リサイクル商品の活用・食品ロス、廃棄物ロス	産業廃棄物分別 100% 作業服及び作業ヘルメットのリサイクル率 100%		
			ペーパーレス会議の実施	ペーパーレス会議の実施 100%		
		自然共生社会の実現	環境影響の低減・環境技術の向上	ハイブリッド重機の使用 50%		
			気候・生物・資源に配慮した社会への貢献	下水熱の普及 1件/年 陸上養殖 100t/年		
			森林植樹	森林保全活動(植樹) 1回/年		
		脱炭素社会の実現	使用電力を再生エネルギーにする	2030年 80% 2035年 100%(再エネ100宣言)		
		社会 (Social)	D&I文化が根付いた 職場を目指す	人材育成・ 多様な人材採用		ダイバーシティ経営(イノベーション、人材の多様化)
多様な人材の確保	女性技術職及び外国人雇用 5%					
女性労働者及び管理職	女性管理職比率 10%以上					
資格保有者数	技術士 6% 25人、1級建築士 12% 52人 1級建設業経理士 2.3%10人					
労働安全衛生の推進	安全推進活動			労働災害低減 災害件数0		
	ワークライフバランスの推進			残業時間45時間以下 育児休業100%取得		
	労働時間格差の解消、健康経営の推進			有給休暇取得率 80%		
建設業を通して 社会に貢献する	品質の確保と技術の向上		技術の継承と技術力の向上	CPDS取得 技術者100% 土木20U/年 建築12U 社内教育の実施 2回/年(現業部1回、会社1回)		
			地域社会への貢献、災害復旧への貢献	地域貢献活動10件/年 災害協定件数 13件/年		
	コミュニティの参画		インターンシップ	要請受入れ 100%		
			水素自動車を活用した防災活動	防災イベント展示(PR) 3件/年		
			現場見学会の実施	現場見学会 5件/年		
			内部統制の強化	内部監査の強化(統治、財務すべて) 1回/年		
企業統治 (Governance)	信頼される組織	組織機能の強化	コーポレートガバナンスの社内周知	講習会実施 1回/年		
			ステークホルダーダイアログの実施	協力会社との情報交換 16回/年(建築14、土木2)		
			コンプライアンス委員会の実施	コンプライアンス委員会定期開催 2回/年		
		コンプライアンスの 推進・強化	内部監査の実施	内部監査の実施 1回/年		
			健全な職場環境の維持(教育研修と啓発活動)	ハラスメント研修 1回/年 アンケート実施 1回/年		
		情報セキュリティの強化	セキュリティ強化とプライバシー保護	企業情報及び個人情報の厳格な管理 社員教育(Eラーニング) 2回/年		
			リスク管理の強化	BCP管理の遂行		安否確認 4回/年 回答率100%
				チェックリスト運用		運用見直し(ブラッシュアップ含む) 1回/年

# 環境を守り、育む。

伊藤組土建では地球環境保護を責務として、再生可能エネルギー技術の開発・実践、植樹活動など、建設業の枠を超えて、持続可能な社会のためにさまざまな取り組みを行っています。



<p>2030目標値 100%</p> <p>産業廃棄物分別</p> <h2 style="color: white;">99.4%</h2> <p>(リサイクル不可廃棄物は除外)</p>	<p>2030目標値 100%</p> <h2 style="color: white;">100%</h2> <p>作業服及び作業ヘルメットのリサイクル (引き取りメーカーにてリサイクル)</p>	<p>2030目標値 100%</p>  <p>ペーパーレス会議の実施</p> <h2 style="color: white;">81.7%</h2>
<p>2030目標値 1件/年</p> <h2 style="color: white;">1</h2> <p>件</p> <p>下水熱の普及</p> <p>中央区役所建替工事にて採用</p>	<p>2030目標値 100t/年</p> <h2 style="color: white;">陸上養殖</h2>  <p>パイロットプラントにて2期目を実施しましたが、飼育水の繰り返し利用による水質の悪化等により目標としている2kgには到達しませんでした。3期目の2024年度はこれら様々な課題の解決を図りながら、目標達成に向け取り組んでいきます。</p>	<p>2030目標値 80%</p> <h2 style="color: white;">56.8%</h2> <p>再生エネルギー利用率</p> 
<p>2030目標値 50%</p> <h2 style="color: white;">1.1%</h2> <p>ハイブリッド重機の使用</p>	<p>2030目標値 1件/年</p> <h2 style="color: white;">1</h2> <p>件</p> <p>森林保全活動(植樹)</p> 	<p>2030目標値 100%</p> <p>2023年度実績</p> <h2 style="color: white;">100%</h2>

## TOPICS

### 北海道の建設業で初めてSBT認定を取得

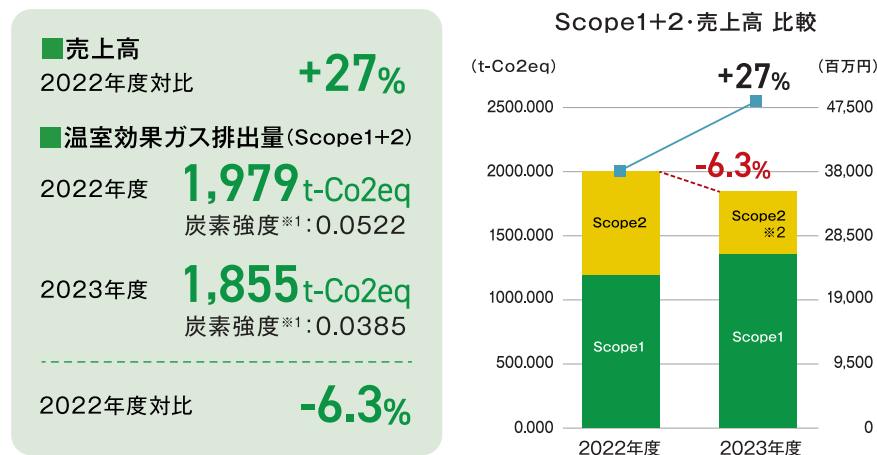
当社は、気温上昇を1.5℃未満に抑えることを目指す国際的イニシアチブ「SBTイニシアチブ」に、2030年度に向けた当社の温室効果ガス排出削減の目標が認められ、2023年に北海道の建設業で初めてSBT認定を取得しました。今後は当該目標を達成すべく取り組みをさらに強化、実行していくことで持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



#### ■伊藤組土建株式会社の削減目標

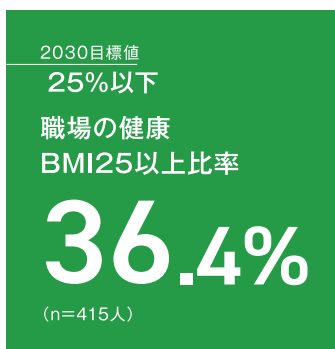
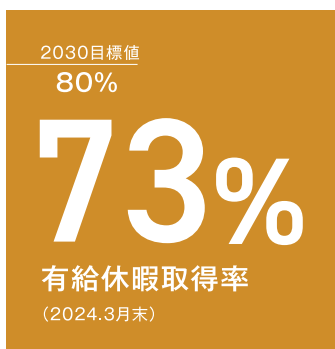
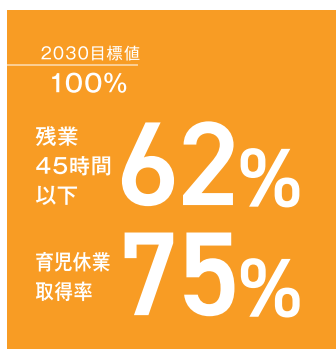
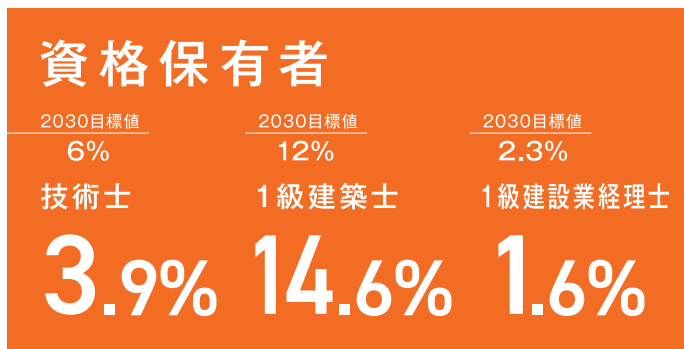
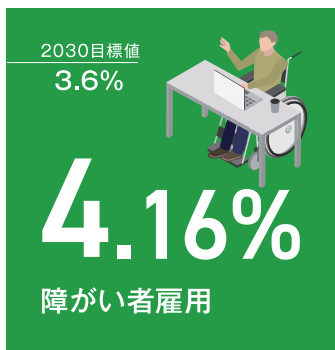
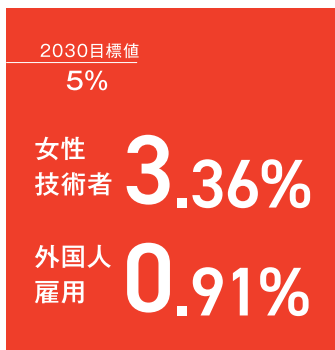
2030年までにスコープ1およびスコープ2の温室効果ガス排出を基準年の2022年から50%削減する野心的な目標を設定。また、スコープ3の排出量を測定して削減することを約束しました。

#### 2023年度温室効果ガス排出量実績



# D&I文化が根付いた職場を目指す。

伊藤組土建では女性・高齢者・障がい者・若者・外国人就労者の採用と活躍の機会を提供するとともに、誰もがいきいきと働ける職場環境の実現に向けてさまざまな取り組みを行っています。



## TOPICS

### Challenge45

## AI活用で残業45時間以下を目指す。

2024年4月から建設業でも適用される時間外労働の規制に対応するため、当社ではAIやオンラインを活用した施策を導入し、成果を上げています。

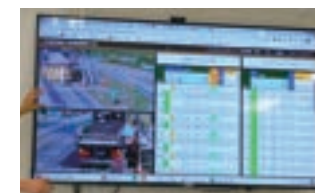
### ■画像認識AIによるダンプの入退場管理

現場に設置したカメラの映像をAIが画像分析し、土砂運搬車両の種別・番号・飛散防止シートの状態・入退場間隔を判断。入退場記録を帳票に記録し、通行可の状態になるとランプで運転手に通知します。



### システム導入で得られる効果

- 省人化: 人による確認業務の削減
- 安全性: 屋外業務によるケガや体調不良の防止
- 判断差低減: 判断の個人差、間違いの防止
- 効率化: 確認担当者の事務所と現場間の移動時間の削減



現場によって差異はありますが、システム導入により1日80分の移動時間削減を得た現場もありました。



### ■遠隔臨場

工事現場と当社が現場映像をリアルタイムで共有し、現地の担当者と本社の管理者層が同時に現状を確認しながら問題点や解決策を協議。これにより本社と現場の移動が不要となり、大幅な時間の削減が図れました。

# 建設業を通して社会に貢献する。

伊藤組土建では、総合建設業者として安心して快適な北海道のまちづくりを担うとともに、地域と連携してさまざまな活動に取り組んでいます。笑顔があふれる豊かな北海道。それが私たちの目標です。



## ※ CPDSとは？

技術者の知識や技能の向上のため、(一社)全国土木施工管理技士会が実施する継続学習制度です。

## 技術の継承と向上

2030目標値

技術者のCPDSの取得\*100%

土木 **81.05%**

2030目標値

社内教育の実施 2回/年

建築 **86.82%** **2**回

2030目標値

100%

インターンシップ  
要請受け入れ

**100%**

2030目標値

10件/年

地域貢献活動

**45**件

2030目標値

13件/年

災害協定件数

**20**件

2030目標値

5件/年

現場見学会

**21**件

2030目標値

3件/年

水素自動車の発電機利用を実演

防災イベントで  
水素自動車を  
展示PR

**1**回



## TOPICS

### 地域の笑顔のために。 2023年も各地で 活動を行いました。

建設事業者の得意分野で地域に貢献。地域のコミュニティとつながりを深めることで、より良い未来のために、私たちに何ができるのかを考える機会にもなりました。



【札幌市】道路環境美化活動



【札幌市】河川美化活動



【札幌市】交通安全街頭啓発



【長沼町】草刈ボランティア



### 北海道胆振東部地震で被災した 厚真町町有林で植樹会を開催

2023年5月、伊藤組グループ創業130周年ならびに当社の協力会社で組織する伊藤組安全衛生協会の設立50周年の記念事業として、2018年9月の北海道胆振東部地震で被災した厚真町町有林の復興を目的とする植樹会を開催。厚真町役場と苫小牧広域森林組合にもご協力いただき、エゾヤマザクラ5本とカラマツの苗木1,000本の植樹を行いました。

# 信頼される組織づくり。

私たちは、創業以来、責任観念と誠心誠意を旨とし、公共的使命を自覚遂行してきました。今後も地域社会、パートナー企業、社員からの信頼に応え、未来に向かって共に歩んでゆけるよう、さらにクリアでコントロールのとれた、リスク耐性の強い組織の構築を目指します。



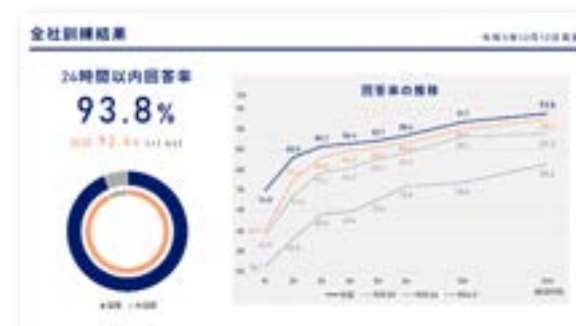
<p>2030目標値 1回/年</p> <h2 style="font-size: 48px; margin: 0;">3回</h2> <p>内部監査の強化 (統治・財務)</p>	<p>2030目標値 1回/年</p> <h2 style="font-size: 48px; margin: 0;">1回</h2> <p>コーポレート ガバナンス講習会</p>	<p>2030目標値 16回/年</p> <h2 style="font-size: 48px; margin: 0;">23回</h2> <p>協力会社との 情報交換</p>
<p>2030目標値 2回/年</p> <h2 style="font-size: 48px; margin: 0;">1回</h2> <p>委員会 定期開催</p>	<p>2030目標値 1回/年</p> <h2 style="font-size: 48px; margin: 0;">2回</h2> <p>内部監査 の実施</p>	<p>2030目標値 2回/年</p> <h2 style="font-size: 48px; margin: 0;">2回</h2> <p>情報セキュリティ 社員教育 (eラーニング)</p> <p>( 標的型メール攻撃の学習、 フィッシングメール訓練 各1回 )</p>
<p>2030目標値 1回/年</p> <h2 style="font-size: 48px; margin: 0;">1回</h2> <p>健全な職場環境の維持 ハラスメント 研修 (5日間)</p>	<p>2030目標値 1回/年</p> <h2 style="font-size: 48px; margin: 0;">1回</h2> <p>アンケート 調査 (3/18~31実施)</p>	<p>2030目標値 4回/年、回答率100%</p> <h2 style="font-size: 48px; margin: 0;">4回</h2> <p>BCP管理 メールに よる安否 確認訓練 (回答率平均91.9%)</p>

## TOPICS

### 災害・事故等発生時、社会の役に立てる企業であるために。

#### — 事業継続計画(BCP)を大幅改訂 —

当社は、災害・事故等が発生した場合、社員・家族と関係者の安全確保に加え、企業の社会的責任としてできる限り地域の救助・復旧活動に当たれるよう、国・地方公共団体や地域に貢献するための行動計画として事業継続計画(BCP)を策定しています。2012年の初版から継続的に見直しを重ねてまいりましたが、2023年度に内容を精査し、本社・支店間の災害時機能を明確にするなどリスク管理を強化しました。



BCP管理の一環として、年4回、全社員を対象にアプリを利用した災害時安否確認の訓練を実施。結果を周知し、意識の向上を図っています。

#### 管理職を対象にハラスメント研修を実施

当社では、2020年からハラスメントに対する活動を開始し、相談窓口の設置や社外カウンセラーの導入、全役職員を対象としたアンケートの実施などを行い、安心して働ける職場づくりに取り組んできました。外部講師を招いての研修も毎年行っており、2023年度は課長・所長以上の管理職を対象にグループワークを含む、知識にとどまらない研修を行いました。



走りだそうサステナブルな<sup>あす</sup>未来へ  
ito Sustainability2050

伊藤組土建株式会社

〒060-8554 札幌市中央区北4条西4丁目1番地

伊藤組土建

検索

<https://www.itogumi.co.jp/>